

鴻巣市立赤見台第二小学校の実践

1 特徴的な活動内容

本校には、児童一人一人が野菜等を栽培できる広さの学年園がある。その学年園では学校応援団環境ボランティアの多大なる支援のもと、各学年の児童が有機農法で野菜を栽培している。また、この活動は環境教育や社会福祉教育にも繋がる取組でもある。

2 実施に当たっての工夫

学校と環境ボランティアで共に栽培計画の作成を行い、有機農法のたい肥作りは環境ボランティアの指導のもとで実施した。また、今年度はSDGsの視点から、畑で使用するマルチビニールをやめて、シュレッターの紙屑を活用するなどCO2削減へのチャレンジも行った。更に栽培した野菜の一部を地域のNPO法人が運営するフードパントリーへ寄贈するなど福祉教育にも繋がる取組も行った。

3 成果・効果

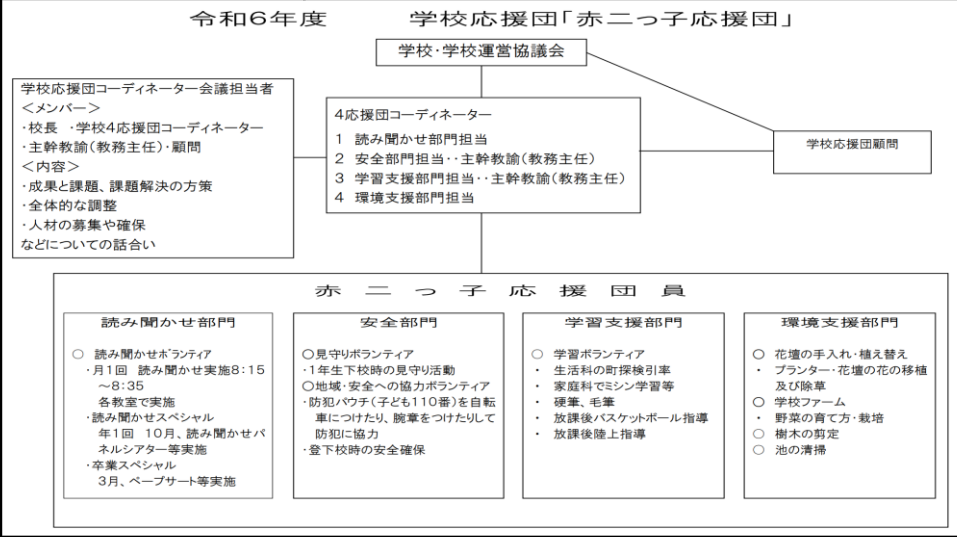
「全国学力学習状況調査」の質問調査の「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」の項目で本校は54.3%が肯定的な回答をし、県38.0%、全国の36.8%を大きく上回った。

4 子供・地域の声

- (1) 子供の声
- ・自分で植えた種が水やり等で育ち、収穫できることがとてもうれしい。
 - ・畑をよく見てくださる環境ボランティアの方にSDGsの事を教えていただき、これからは環境問題を意識した栽培をしていかなければならないと思いました。
- (2) 学校応援団・地域の声
- ・学校が地域の方々を積極的に受け入れていただき大変ありがたい。これからも学校と地域が一体となって子どもたちの成長を見守っていきま。

学校基本情報

児童数	258名	学級数	13学級
コーディネーター数 (担い手)	3名 (放課後子ども教室関係者3)		



〔シュレッター紙くずの敷き詰め
(CO2削減へのチャレンジ)〕



〔じゃがいもの収穫 (NPO法
人BANGBOOへの寄贈)〕

上尾市立大石北小学校の実践

1 特徴的な活動内容

(1) ホタル観賞会

学校ビオトープを活用して、毎年6月の夕刻にホタルを放ち、希望する家庭を対象にビオトープにおいてホタルの神秘的な輝きを楽しむ機会を設ける。

(2) 北小美化活動～くすどりクリーンDAY～

児童の清掃時間に保護者・地域の方が参加し、時間を共有して美化活動を行う。普段取り組めないベランダの窓や木の伐採等の活動に取り組んでいる。

2 実施に当たっての工夫

- ・日頃から、児童や親父の会、地域ボランティアによってビオトープの維持管理を行っている。
- ・学校応援団事務局会議を年4回実施し、学校や地域の現状と課題を把握しながら活動内容を精選して実施している。
- ・学校運営協議会委員が、学校だよりに活動の様子も含めて寄稿文を掲載することで各方面への周知を行っている。

3 成果・効果

- ・学校を通じて、地域・家庭との結びつきが強まった。
- ・様々な体験活動から、児童の学習に対する興味関心を高め、社会性や協調性を養うことができた。
- ・子供と大人が触れ合う機会が増え、世代間の交流を促進することができた。

4 子供・地域の声

(1) 子供の声

- ・キラキラしてきれい。来年もまた見にきたい。
- ・みんなで自分の学校をきれいにできてうれしい。

(2) 地域の声

- ・自然の大切さを改めて感じる事ができた。
- ・子供と一緒に活動するのは、良い思い出になった。

学校基本情報

児童（生徒）数	692名	学級数	24学級
コーディネーター数 (担い手)	6名 (地域代表・元PTA役員)		

学校応援団

1 地域団体

自治会、民生委員・主任児童委員
いきいきクラブ、環境ボランティア
子ども安全見守り隊、学校ファーム

2 PTA等

大石北小PTA、親父の会

学校運営協議会

委員8名全員が
学校応援団に参加

学校 家庭 地域



〔ホタル観賞会の準備〕



〔くすどりクリーンDAY〕

戸田市立笹目小学校の実践

1 特徴的な活動内容

＜学習活動への支援＞

○昔遊び、町探検、書初め、米づくり、野菜作り

＜環境整備への支援＞

○除草作業・花壇整備・植木剪定

○施設清掃・施設修繕

＜安心安全への支援＞

○登下校の子供見守り隊・学区巡回

○非常災害時の避難所設置・防災訓練

2 実施に当たっての工夫

(1) 元々PTA活動が盛んで、学校に協力的な風土が根付いていた。この特徴を生かし、学校応援コーディネーターが学校と学校応援団の間で効果的に橋渡しをし、調整役を担っている。

(2) 学校運営協議会での熟議を重ねる中で、委員の主体性が向上した。新しい取組が必要な際には、学校運営協議会が主導して発信している。

(3) ボランティア募集では、ボランティアアプリHiを活用することで、連絡にかかるコストを削減している。

3 成果・効果

○学校応援団の支援を受け、教育活動がより充実するだけでなく、児童の安全確保や教職員の負担軽減にも寄与している。また、地域の意見を反映した教育活動の実現にもつながっている。今後は、社会に開かれた教育課程の更なる充実を目指していく。

4 子供・地域の声

(1) 子供の声

・「ミシンボランティアの方に教えてもらったおかげで、素敵な作品を作ることができました。」

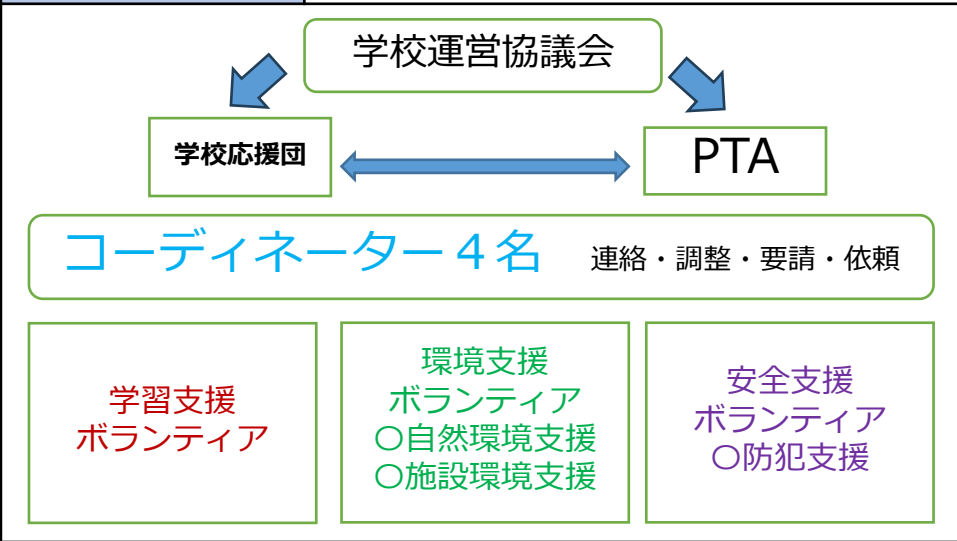
(2) 地域の声

・子供たちの活動の様子を見たり、声を聴いたりすることで元気をもらえる。

・学校の教育活動を知ること、関心が深まり協力したいという意欲がより一層強くなった。

学校基本情報

児童数	254名	学級数	12学級
コーディネーター数 (担い手)	4名 (元PTA会長・元町会長・地域住民2)		



花壇の整備



学級園の指導

和光市立白子小学校の実践

1 特徴的な活動内容

学校教育目標「歴史を引き継ぎ 未来を拓く学校」を目指した取り組みの一環として、教科等学習指導、読書習慣の支援、学校環境整備、児童の安全確保への協力・支援、PTA行事への協力・支援などを通して、幅広い視野から支援していただいている。

特に「地域人材」活用では、校舎内に郷土資料室を作成し、授業参観時等を利用して、一般公開をするとともに、資料室を案内し、児童・教職員・地域の方にも地域の歴史や魅力を伝えてくれた。

2 実施に当たっての工夫

応援の内容によって、一つの団体のみの実践ではなく、多くの団体が協力して実施している。

特に、除草や清掃作業の時は、PTA、おやじの会、地域・みまもり隊等の団体が協力し学校の環境を整備してくれた。多くの団体と関わりのある団長及びコーディネーターが連携し実施している。

3 成果・効果

「地域人材」活用での郷土資料室を作成は、今後も継続して郷土資料室が活用できる形になり、学校教育目標である「歴史を引き継ぎ」が実現された。

学校応援団の活動や、地域の方の協力を得て、除草作業、学校行事準備片付け等の活動は、教職員の働き方改革につながっている。

4 子供・地域の声

(1) 子供の声

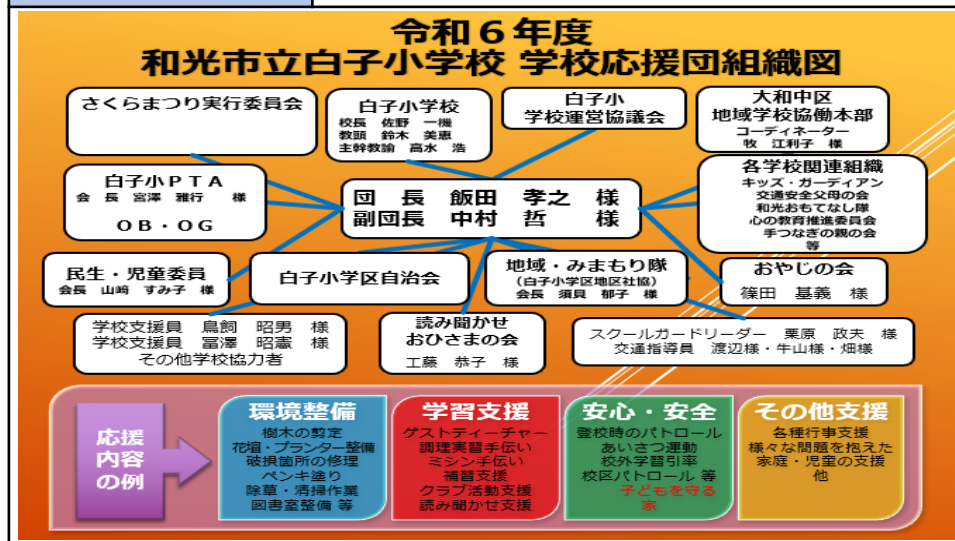
- ・安全を守るために毎日登下校の見守りをしてくれて嬉しい。
- ・白子小の昔のことが知ることができ、昔の時代にタイムスリップした気持ちになった。

(2) 地域の声

- ・学校を中心に、地域がより活性化されている。
- ・これからも、学校のため、地域のために協力したい。

学校基本情報

児童（生徒）数	5 3 3 名	学級数	2 1 学級
コーディネーター数 （担い手）	8 名 （環境整理部、学習支援部、安心・安全部、その他支援部、おやじの会、スクールガードリーダー、読み聞かせの会、その他学校協力者）		



〔郷土資料室での説明会〕



〔毎日の登下校見守り〕

新座市立八石小学校の実践

1 特徴的な活動内容

本校には、読み聞かせボランティア【はちっこおはなし隊】があり、コーディネーターがリーダーを務めている。今年度は年間8回、各クラスにおいて朝の15分間、読み聞かせや紙芝居等を行い、児童に本の楽しさを味わわせることができた。また、数年ぶりに図書支援ボランティアを募り、児童の読書意欲を喚起するため、季節に応じた図書室の壁面装飾も行っている。

2 実施に当たっての工夫

- (1) 読み聞かせの活動期日を、年間行事予定に入れる。
コーディネーターと教頭が連携し、読み聞かせの活動期日を学校の年間行事予定に入れ、年間の読み聞かせの回数を確保した。
- (2) 【はちっこおはなし隊】の人数を増やす取組
コーディネーターが読み聞かせ活動の見学を提案し、スクールメールで保護者に呼びかけたり、ボランティアメンバーを直接募ったりすることで活動人数を増やすことができた。
- (3) 読み聞かせ用の本を【はちっこおはなし隊】で選定し、助成金で購入した。
- (4) 図書室の季節に応じた壁面装飾の取組
スムーズに活動に取り組めるよう、教頭がスクールサポートスタッフに依頼し、事前に装飾の見本づくりや必要な材料を用意した。

3 成果・効果

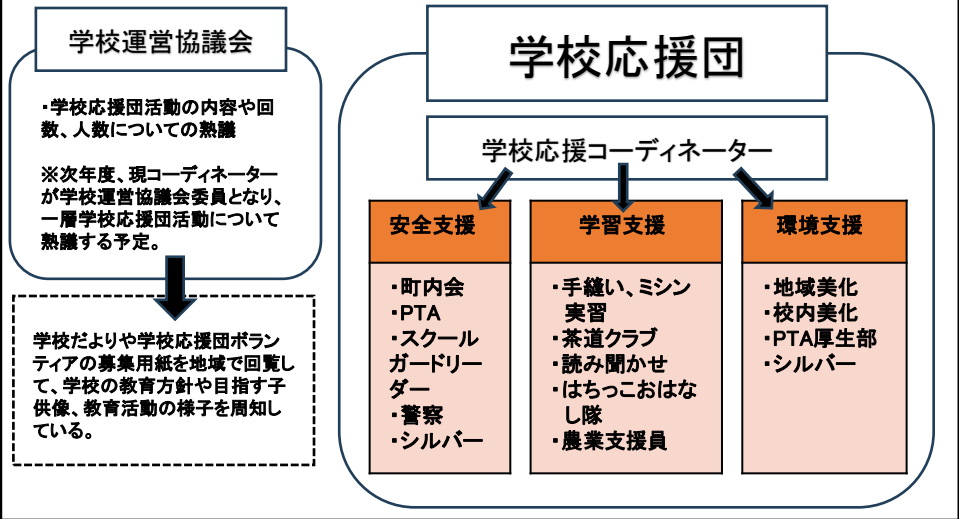
- ・前述の取組で、昨年度、各学年に1人の読み聞かせメンバーの配置であったが、今年度は各クラスに1名配置することができた。
- ・図書支援ボランティアが保護者にとってよい交流の場となり、複数回参加する方がいた。また、回を重ねるごとにアイデアを出し合い、装飾の仕方も工夫することができた。この手ごたえは、他の活動にも生かせると感じた。

4 子供・地域の声

- (1) 子供の声
 - ・図書室の飾りがきれいで、図書室に行くのが楽しくなった。
- (2) 地域の声
 - ・子供たちの反応が良くて、こちらも楽しく活動することができた。

学校基本情報

児童数	298名	学級数	14学級
コーディネーター数 (担い手)	2名 (ココフレンドコーディネーター1名、PTA副会長1名)		



〔紙芝居を聞く児童の様子〕



〔図書室壁面装飾の一つ〕

桶川市立桶川西中学校の実践

1 特徴的な活動内容

全員除草活動の実施

保護者、地域の方からなる「OWSUP!」のメンバーと部活動単位による生徒・教職員の参加、また、学校運営協議会や地域の回覧板による周知により地域の方の参加がある。

2 実施に当たっての工夫

(1) PTA、OWSUP!との連携

日頃から、PTAやOWSUP!との連携を重視している。
PTA執行部会や打ち合わせにはOWSUP!のメンバーも参加し、意思疎通を密に図っている。

(2) 活動の発信

活動の様子については、HPや学校だよりをとおして、学校内外に発信している。学校の様子として知らせ、学校からの感謝の気持ちを伝えている。

3 成果・効果

つながりが生まれるとともに、様々な方からの声掛けにより活動に参加した生徒の自己肯定感が育まれる。地域の方には、生徒が一生懸命取り組む姿を間近で見ていただく機会となる。

また、生徒・教職員は、保護者や地域の方の協力を得ることで、自分たちの教育環境の安全が確保され、きれいで居心地のよいものになっていることを間近で感じ、感謝の気持ちをもつとともに、日常の活動に一生懸命取り組む意識が高まる。

4 子供・地域の声

(1) 子供の声

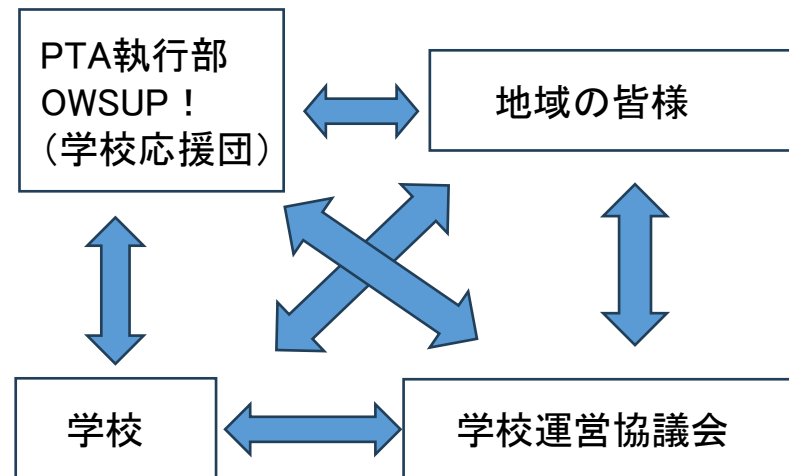
- ・多くの方の協力のお陰で、活動しやすくなった。
- ・一生懸命取り組めた。褒めてもらって嬉しい。

(2) 地域の声

- ・生徒が本当に一生懸命取り組んでいて素晴らしいと感じた。

学校基本情報

児童（生徒）数	488名	学級数	17学級
コーディネーター数 （担い手）	2名 （PTA会長、OWSUP!（学校応援団）会長）		



バレーコート整備



地域の方と一緒に

北本市立北本中学校の実践

1 特徴的な活動内容

「北本中環境支援隊」として、生徒の教育環境の充実を目指し主に以下の活動を行っている。

- ・校地内の樹木の剪定、草花の植え替え
- ・施設や備品等の補修
- ・生徒との交流（集会や学校行事への参加、協働活動、交流給食）

2 実施に当たっての工夫

（1）応援団の活力向上へ

応援団の活動に、生徒と関わる機会を意図的に設けた。年度当初の集会、体育祭や音楽会への招待、生徒との協働活動や交流給食などをとおして、生徒と応援団が一緒に歩んでいる感覚を高めた。

（2）持続可能な活動へ

本活動は長年にわたり地域住民のボランティアに担っていただいている。学校運営協議会において議題として取り上げるとともに委員による視察も行い、地域と学校が目標を共有した。

また、ボランティアの募集については、学校だより等で積極的に発信しながら、社会福祉協議会等とも連携して行っている。

3 成果・効果

- ・生徒の教育環境が良好な状態で保たれている。
- ・教職員の負担軽減に大きな成果をもたらしている。
- ・積極的な募集により、今年度、新たに3名の担い手が増えた。

4 子供・地域の声

（1）子供の声

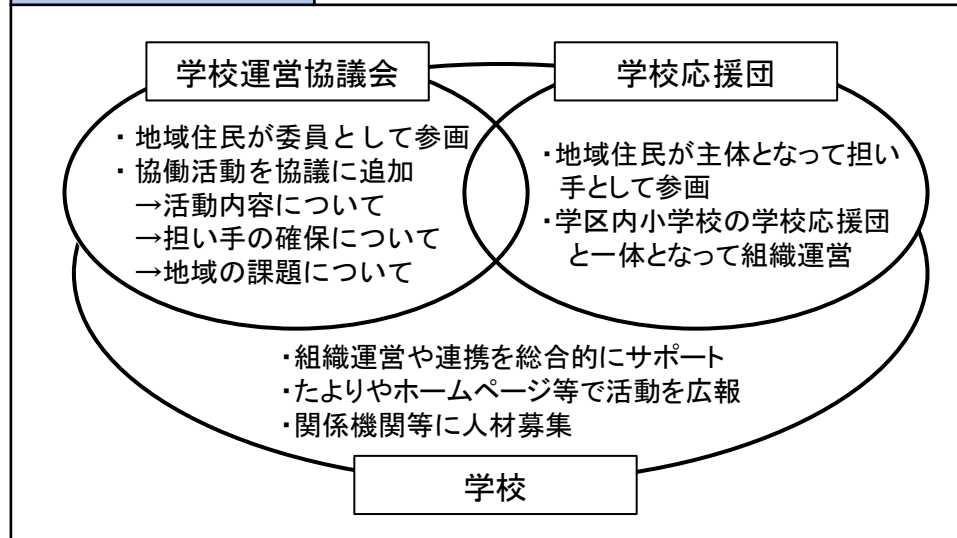
- ・応援団の方々が私たちを支えてくれていることに感謝したい。
- ・一緒に活動すると、大変さも分かった。

（2）地域の声

- ・生徒の笑顔を見ると、元気が出る。
- ・引き続き、新しい担い手を確保してほしい。

学校基本情報

児童（生徒）数	499名	学級数	15学級
コーディネーター数 （担い手）	1名 （地域住民1）		



〔活動の様子（藤棚の補修）〕



〔生徒と応援団の合同作業〕

伊奈町立小針小学校の実践

1 特徴的な活動内容

毎年12月にPTA主催による「芸術鑑賞会」を開催している。子供たちがワクワク・ドキドキするような内容にしている。具体的には、この3年間で「マリンバ演奏」、「中国雑技団」、「サイエンスショー」などの公演を行った。今年度からは実施にあたり、会場設営などの運営を学校応援団が担った。

2 実施に当たっての工夫

(1) 開催日について

開催日は、12月の給食最終日と決めている。この日は、クリスマスメニューでセレクトケーキを食べることができる。これだけでも嬉しい日となるが、さらに午前中に芸術鑑賞をするということで二重に嬉しいスペシャルハッピーデーにしたいという思いがある。

(2) 会場づくりについて

開催前日、子供たちと一緒に体育館にクリスマスの飾り付けをして会場づくりをした。また、商工会の協力により、伊奈町ゆるキャラのローズちゃん・ローズくんの着ぐるみの演出もあった。いつもと違う雰囲気の中で、子供たちが幸せな空間を共有できた。

3 成果・効果

- ・公演を楽しむことはもとより、前日準備や当日後片付けにおいても親子や地域とのコミュニケーションをとる機会となった。
- ・アンケート結果から、ほぼ100%の保護者が、「親子芸術鑑賞会」は有意義であり、今後も継続してほしい願っている。

4 子供・地域の声

(1) 子供の声

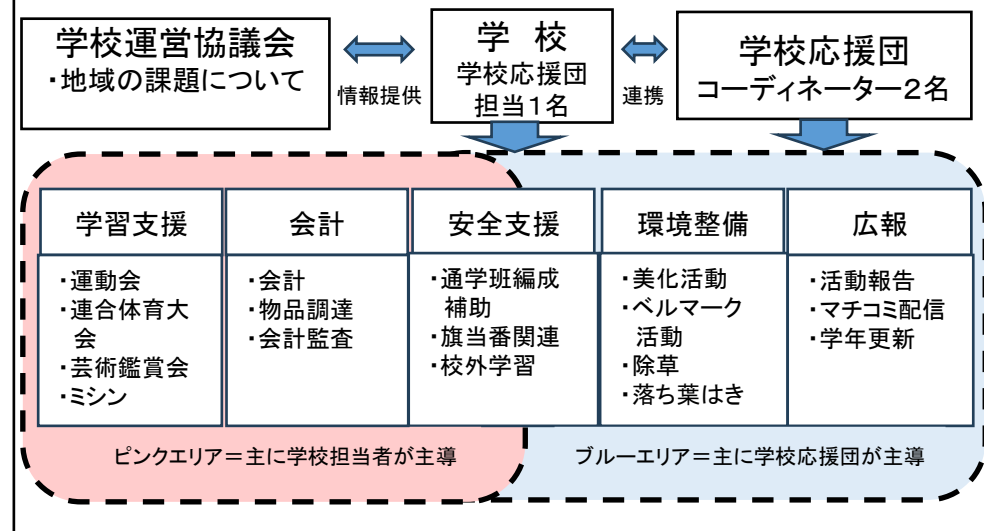
- ・実験がとても楽しくて、あっという間の時間だった。
- ・ローズちゃんとローズくんもサプライズで来て嬉しかった。

(2) 地域の声

- ・普段はあまり学校のことを話さない我が子が、とても面白かったと目を輝かせて報告してくれた。
- ・日常的になかなか見ることや体験することができないショーを見る機会を作ってもらってありがたい。

学校基本情報

児童数	531名	学級数	21学級
コーディネーター数 (担い手)	2名 (PTA会員1、元PTA会員1)		



〔舞台に飾り付けて雰囲気づくり〕



〔ローズちゃんローズくんとタッチ〕

所沢市立松井小学校の実践

1 特徴的な活動内容

学校運営協議会において、学校の課題解決に向けて協議する中、「地域住民による不登校支援ができないか」と意見がまとまり、「**大人の学び**」を生かした**サポーター制度の構築**に取り組んでいる。

2 実施に当たっての工夫

(1) 地域・保護者・教職員による「地域に開かれた校内研修」

地域住民が不登校支援に携わるには、不安があるとの声を受け、不登校支援に係る学びの機会を設定した。教育センターから指導主事と相談員を講師に招き、さまざまな児童に対する声の掛け方を、ロールプレイを通して具体的に学ぶ講座を実施した。なお、講座を夏季休業中の教職員の校内研修と併催することで、地域・保護者・教職員等が膝を突き合わせて学び合う機会となった。

(2) 学びを生かしたサポーター制度の構築

夏季の学びを生かし、サポーター制度を立ち上げることとなった。地域の方が子供とFLATな目線で関わってほしいという願いと、散歩の途中等、ふらっと学校に立ち寄ってほしいという願いを込め、「ふらっと(FLAT)サポーター」と名付けた。サポーターが直接、不登校支援に携わる場面は少ないが、地域住民が校舎内を見回ったり、児童と交流したりする姿が見られるようになってきた。

3 成果・効果

- ・サポーター登録者数 R5年12月：20人 ⇒ R6年9月：51人
- ・学校評価：地域の方に教わった R5：62.5% ⇒ R6：69.9%

4 子供・地域の声

(1) 子供の声

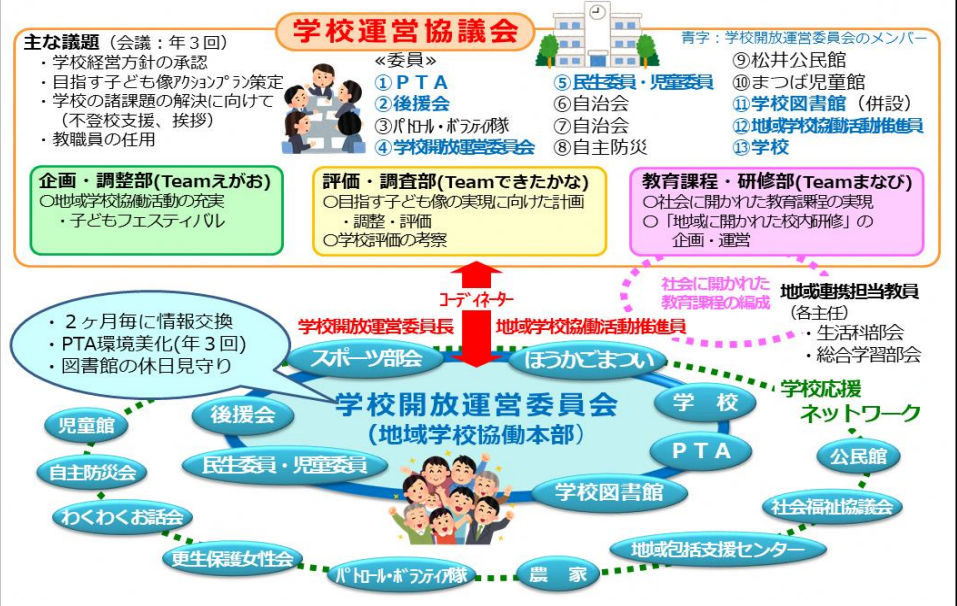
- ・地域の方から郷土料理の焼き団子やうどんの作り方を教わって楽しかった。150年の歴史がある学校をハッピーにしたい。

(2) 地域の声

- ・学校を訪問する機会が増え、学校や子供の様子も分かってきた。子供と関わることが自身の活力にもつながっている。

学校基本情報

児童（生徒）数	487名	学級数	19学級
コーディネーター数 (担い手)	2名 (地域学校協働活動推進員・学校開放運営委員長)		



地域に開かれた校内研修
さまざまな児童への声掛けを学ぶ



ふらっと(FLAT)サポーター
学びの成果を活用した支援体制

飯能市立飯能第二小学校の実践

1 特徴的な活動内容

- (1) 登下校の見守り
毎日、登下校時に、危険個所での交通指導や見守り。
- (2) ボランティア活動
 - ① プール清掃ボランティア
全校児童だけでは、人手が足りないため、トイレや更衣室の清掃。
 - ② 除草作業ボランティア
全校除草の際に、校庭を中心に児童との共同作業。
 - ③ 体験活動ボランティア
マスカミ体験、もちつき体験の運営補助。

2 実施に当たっての工夫

- (1) 行政センターとの連携
地域の方の協力を得るために、行政センターと連携して、地域のスポーツ協会、青少年育成会、振興会の協力を得ることができるようにしている。

3 成果・効果

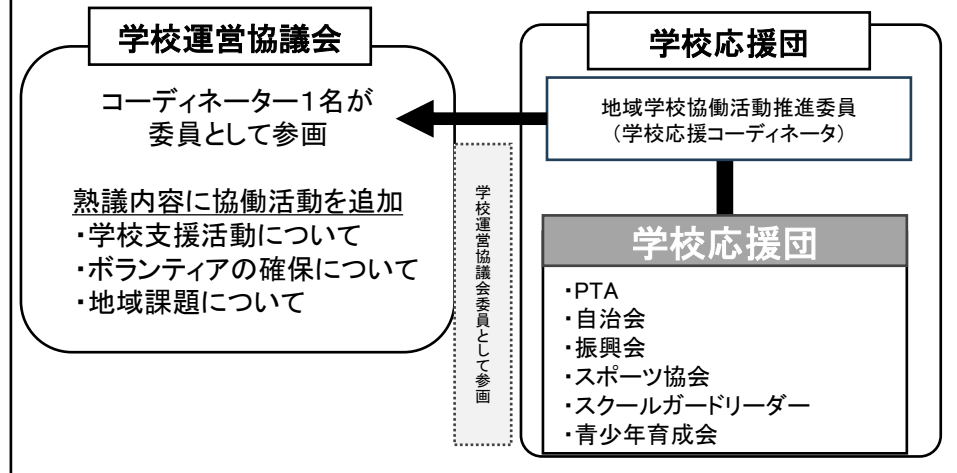
- (1) 行政センターと連携することで、保護者だけでなく、地域の方にも除草作業にご協力いただき、運動会前に校庭を整備することができた。
- (2) 地域の方とのつながりを構築することができ、迅速に協力及びサポートを求めることができた。

4 子供・地域の声

- (1) 子供の声
 - ・地域の方が、見守り、あいさつをしてくれて、安心する。
- (2) 地域の声
 - ・二小が地域活性化の中心となる。
 - ・二小に子供が集まるよう、協力したい。

学校基本情報

児童（生徒）数	21名	学級数	4学級
コーディネーター数 (担い手)	1名 (PTA会長)		



〔登下校の見守り〕



〔除草作業ボランティア〕

東松山市立野本小学校の実践

1 特徴的な活動内容

- (1) 学習ボランティア活動
- ①読み聞かせボランティア
月に2回、業前活動で読み聞かせの時間10分間を各学級にて実施。全学年を対象
 - ②図書整理ボランティア
図書の整理及び、傷んだ本の修繕を実施。活動は読み聞かせ終了後実施
 - ③学習ボランティア（ミシン・科学クラブ）
学習の時期に応じて児童の学習支援を行う。
 - ④かかしボランティア
地域のかかし祭りに参加する学年のかかし作りを応援する。
- (2) 安全見守り活動
毎日の登下校時の交差点や危険箇所での交通指導や見守りを実施。

2 実施に当たっての工夫

- (1) 市立図書館の職員を指導者として招聘しての読み聞かせ講習会及び図書修繕等の仕方についての研修会を実施する。
- (2) 見守りボランティアの皆さんへの感謝の手紙を作成して感謝の気持ちを伝える。

3 成果・効果

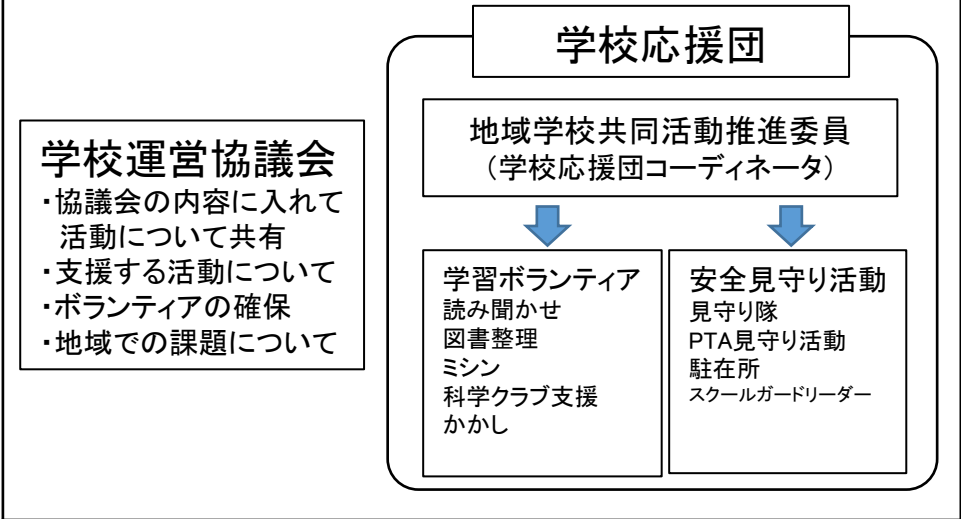
- (1) 読書への興味関心が高まったとともに、図書が整理され、傷んだ本も修理が進み多くの本に触れることができた。
- (2) 学習への支援により、効率よく学習への理解が深まった。
- (3) 地域の安全見守りの皆さんへの心のこもったあいさつができるようになった。

4 子供・地域の声

- (1) 子供の声
- ①読み聞かせの皆さんのお話がいつも心に残りました。
 - ②暑い時も寒い時も道に立ってくれてとてもうれしいです。
- (2) 地域の声
- ①読書を通して子供たちと触れ合い、読書に興味を持ってくれるのが嬉しいです。
 - ②子供たちの明るく元気な声を聞き、やりがいを感じました。

学校基本情報

児童（生徒）数	397名	学級数	16学級
コーディネーター数 （担い手）	1名 （学校運営協議委員）		



〔読み聞かせ〕



〔見守り活動〕

狭山市立入間川小学校の実践

1 特徴的な活動内容

【体験活動の充実】

(1) 入間川体験プロジェクト

学校の横を流れる「入間川」の水質検査、生態系調査、カヌー体験を通して、自分たちの住んでいる町のシンボリック的存在である「入間川」を知り、守っていこうという学習である。地域で活動を行っている方や市役所の職員など多くの方の協力で貴重な体験ができています。

(2) 名人さん

特技をお持ちの地域の方々を学校へお招きし、児童は様々な体験をすることができます。日本舞踊・昔のお菓子作り・絵手紙・木工・けん玉など地域の方とふれ合いながら学ぶことができます。

2 実施に当たっての工夫・

- ・学校と学校応援団の繋がりが長年にわたって培われているので、実施に向けての連携がとてもスムーズである。
- ・このつながりを持続可能なものにしていくためコーディネーターだけでなく、学校運営協議会からの発信力も使い、各ボランティアの横の繋がりを強化することで、より充実した活動に繋がると考える。今年度少しずつその方向に動き始めることができた。

3 成果・効果

- ・地域の方と関わり、体験し、学んだことは児童の学びに対する主体性に大きく影響している。

4 子供・地域の声

(1) 子供の声

- ・いろいろな体験ができて、詳しい話も聞けるのでとても勉強にある。もっと知りたいし、やってみたい。

(2) 地域の声

- ・子供たちの楽しそうな顔、真剣な姿を見るとやってよかったととてもやりがいを感じている。

学校基本情報

児童（生徒）数	480名	学級数	19学級
コーディネーター数 (担い手)	1名 (学校運営協議会委員)		

学校(教頭)

学校運営協議会

学校応援団

コーディネーター

・入間川体験プロジェクト・名人さん・昔遊び体験・丸付けボランティア・九九検定ボランティア・登下校見守りボランティア・読み聞かせボランティア・図書ボランティア・掲示ボランティア・書き初めボランティア・園芸ボランティア・理科ボランティア・サマースクール



〔カヌー体験〕



〔生態系調査〕

富士見市立東中学校の実践

1 特徴的な活動内容

「自転車通学安全モデル校」

本校の学校応援団の活動の一つとして、PTA役員の方が中心となり登校時の交通指導・安全見守りを行っている。本校では東中4つの伝統のうちの一つに「自転車走行マナー」を掲げており、生徒・保護者ともに交通安全への意識が高く、「自転車通学安全モデル校」の指定にもつながっている。

2 実施に当たっての工夫

(1) 学校と保護者・地域が東中の伝統を共有

PTA常任委員会・学校運営支援者協議会で、東中4つの伝統の一つである「自転車走行マナー」を毎年度確認している。また、生徒の登下校での様子の良い点と課題点について話し合うことで、更なる向上を目指している。

(2) 学校応援団との連携

毎年度、定期試験期間に登校指導日を設定し、教職員と学校応援団で連携して交通指導にあたっている。交通量の多い交差点や見通しの良くない箇所に担当を振り分け、生徒の安全が確保されるようにしている。

3 成果・効果

・令和6年度も「自転車通学安全モデル校」に指定され、6年目に達した。生徒の登下校についても、大きな事故はなく、安全な学校づくりを実現できている。

4 子供・地域の声

(1) 子供の声

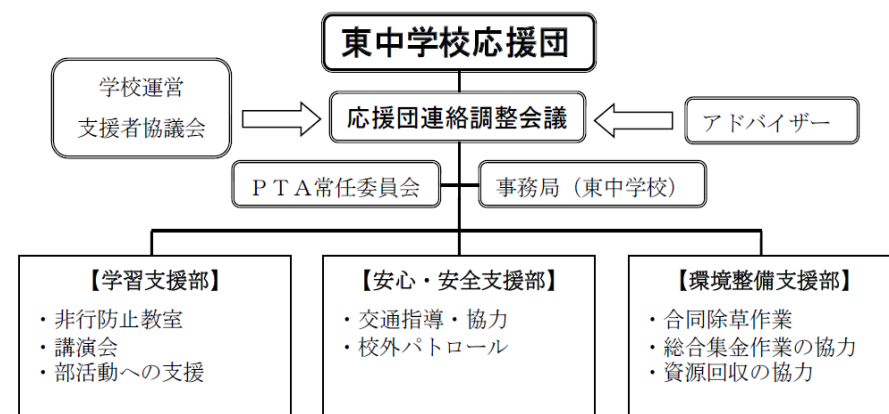
- ・安全見守りのおかげで、安心して通学することができている。
- ・これからも「自転車走行マナー」を大切に守っていききたい。

(2) 地域の声

- ・東中の生徒は自転車のマナーが優れていて素晴らしい。
- ・東中の伝統は、地域の誇りである。

学校基本情報

生徒数	293名	学級数	11学級
コーディネーター数 (担い手)	1名 (PTA会長)		



交差点や横断歩道等での見守りをしていただいているおかげで、安全に登校することができています

坂戸市立三芳野小学校の実践

1 特徴的な活動内容

- (1) 安心安全支援ボランティア（見守り隊）
毎日登下校時の見守り活動を実施した。教職員による見守り活動は学期に1～2回となり、教職員の負担軽減につながった。
- (2) 2年生生活科ボランティア・3年生総合的な学習の時間ボランティア
体験学習の際、安全確保や学習の補助や児童の安全確保ができた。
- (3) 農業体験ボランティア
2年生、3年生、特別支援学級の野菜作り体験の支援を行った。ボランティアの指導の下、土づくりや苗の植え付け、日々の世話などの体験ができた。手入れは多くの時間を要するが、畑の状況に応じて、水の管理や除草などボランティアが行い、教職員の負担が軽減した。
- (4) 図書ボランティア
読書支援員、図書主任と連携し、図書室の整備、飾りつけ、蔵書点検等ご協力を頂いている。6月から毎月1回、19名が登録し活動している。児童にとってより使いやすく、心地よい図書室になっている。

2 実施に当たっての工夫

- (1) 学校運営協議会で議題にすることにより、活動の成果や課題について共有している。
- (2) ボランティアの世代交代が課題である。人材の確保のために現担当者による推薦や、各自治会へ回覧板で募集案内を周知するなどしている。
- (3) 2月に「感謝集会」を行っている。児童から感謝の意を伝える場を設けている。感謝状や歌のプレゼントで日頃の感謝を伝えられるようにしている。
- (4) 保護者ボランティアの募集をすぐる（連絡用アプリ）を使って行っている。参加者の集約や連絡がスムーズに行えている。

3 成果・効果

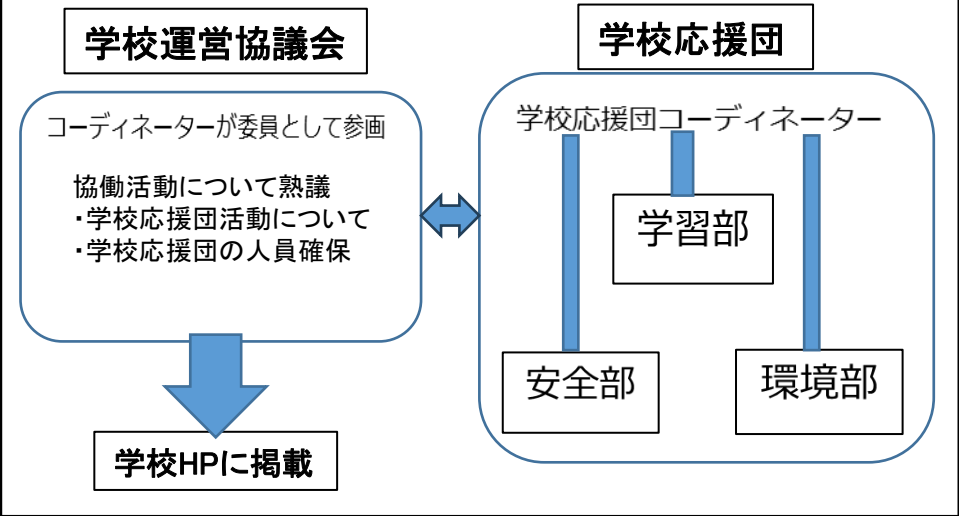
- (1) 登下校の見守り等のご協力により、大きな事件・事故もなく、児童は安心して登下校ができた。
- (2) 体験学習を通して、「見る」「聴く」「触れる」ことで、子供達の心に響き、より深く学ぶことができた。

4 子供・地域の声

- (1) 子供の声
学習後の感想から、体験活動を通して農家の方の努力や工夫を実感をもって学ぶことができた。また、食べ物への感謝の気持ちや生命の尊さに気づく児童が多く見られた。体験後の探究学習も、より高い学習意欲のもと進められた。
- (2) 地域の声
保護者による学校評価「3. 学校は地域の人・物・自然等を活かし、特色ある学校づくりを行っている。」では96.1%の保護者が「よくできている」「だいたいよくできている」を答えている。前年度比で約4%上昇し、高い水準を示している。

学校基本情報

児童（生徒）数	220名	学級数	12学級
コーディネーター数（担い手）	1名 (学校運営協議会委員)		



図書ボランティアの活動



2年生生活科ボランティア

鶴ヶ島市立藤中学校の実践

1 特徴的な活動内容

地域連携活動『落ち葉プロジェクト』の実施
 鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会事業・つるがしま里山サポートクラブ事業『落ち葉プロジェクト』（公園の落ち葉をたい肥に利用する地球環境への取り組み）に中学生がボランティアとして参加する活動を支援。今年は企業の工場敷地と一体型の公園「ガーデンパーク」の落ち葉清掃も企業の方のご要望、ご協力により実施。

2 実施に当たっての工夫

- 「中学生が地域の方と関わり合う機会を持ちたい。様々な体験を通して心豊かに成長してほしい。」「環境問題を身近に感じてほしい。」「地域環境にも関心を持ってほしい。」という地域の方々のお声を受けて学校と地域で目的を共有し、地域主導の活動へ学校応援団が協力する形で実施している。
- 学校を通してボランティア募集案内を配布することで保護者にもご理解いただくとともに、ボランティア参加する生徒が成果を実感できるよう「ボランティア証明書」を発行している。

3 成果・効果

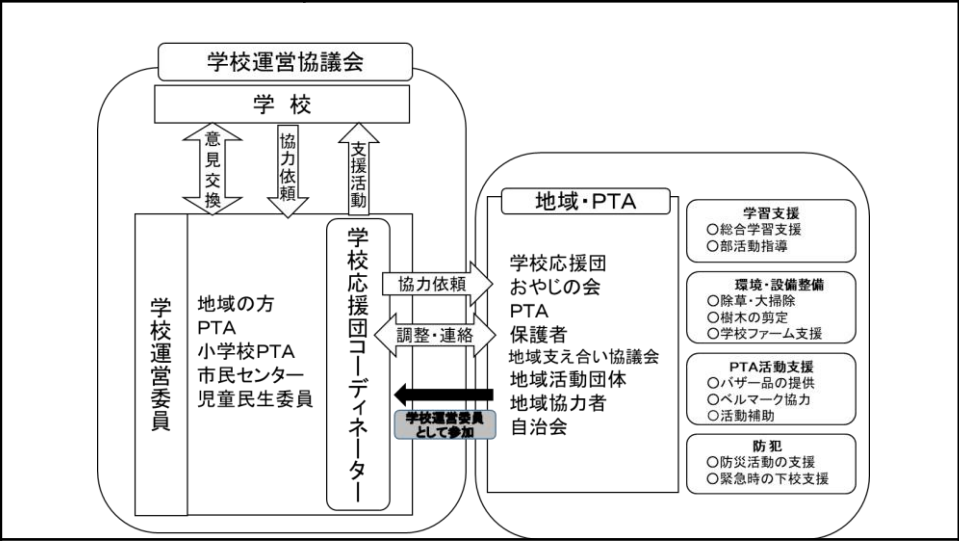
5年目の実施のため、身近なボランティア体験として中学生にも認知されており、本年度は約50名の中学生ボランティアの参加があった。
 落ち葉掃除の他に、焼き芋体験も行い、今回のボランティア体験を通して、生徒は地域との交流に加え、達成感を感じることができ、地域環境や環境問題への関心も啓発できた。

4 子供・地域の声

- 子供の声
 - 落ち葉掃除をして地域がきれいになるのが気持ち良かった。
 - 地域の方と協力することがとても大切だと感じた。
- 地域の声
 - 多くの生徒が参加してくれてとても感謝している。
 - 企業としても地域活動に協力していきたい。

学校基本情報

児童（生徒）数	5 2 5 名	学級数	1 7 学級
コーディネーター数 （担い手）	1 名 （元 P T A 会長）		



〔落ち葉掃除・焼き芋体験〕



〔ガーデンパーク落ち葉清掃〕

ふじみ野市立さぎの森小学校の実践

1 特徴的な活動内容

(1) 繭玉飾り体験教室（地域の歴史教え隊）

小正月に行われていた地域の伝統行事「繭玉飾り」を2年生が体験する活動。地域コーディネーター、民生委員、市社会教育課ボランティアが講師。

(2) 七色川（ビオトープ）の整備（おやじの会）

学校ビオトープ「七色川」の除草や整備を地域の保存会からおやじの会が引継ぎ、環境整備を行っている。

2 実施に当たっての工夫

学校応援団活動の中心となる地域コーディネーターや学校応援団コーディネーター（各部の部長）が、学校運営協議会で地域の願いや学校の特色を生かした活動になるよう話し合っている。

学校の要望だけでなく、地域の思いを学校の教育活動に生かすように学校応援団でできることについて具体的に検討している。

3 成果・効果

- ・地域の願いや学校の特色を生かした教育活動が実践されている。
- ・子ども達にも地域や学校を大切に思う心が育まれている。

4 子供・地域の声

(1) 子供の声

- ・地域の方と一緒に繭玉飾りを体験することができて、とても楽しかった。繭玉について詳しく知ることができた。
- ・七色川がきれいになってよかった。生き物を大切にしていきたい。

(2) 地域の声

- ・子供たちが地域の伝統行事に触れる機会ができ、自分もお手伝いできることが嬉しい。
- ・七色川で遊んだり、学んだりして生き物や自然を大切にしたい。そのためにできることを協力していきたい。

学校基本情報

児童（生徒）数	372名	学級数	12学級
コーディネーター数 （担い手）	5名 （地域コーディネーター、応援団コーディネーター）		

<学校運営協議会>

地域コーディネーター 2名

学校応援団部長 3名

PTA会長

地域（自治会長等）

保育園長

中学校長

市長部局（社会教育課）

※地域コーディネーターと学校応援団コーディネーターがどちらの活動にも参加。

<学校応援団>

○学び隊（学習支援）

・図工、調理実習等の支援

○読み聞かせ隊

○自然守り隊

・花壇の整備等

○地域の歴史教え隊

・繭玉飾り体験

○安全見守り隊

○おやじの会

・七色川整備、12祭、夕涼み会



繭玉飾り体験教室



七色川（ビオトープ）の整備

三芳町立三芳小学校の実践

1 特徴的な活動内容

(1) 3つの部、11の活動による教育支援

本校には、学習支援部（読み聞かせ・書写・家庭科・算数・音楽）、環境整備部（ビオトープ、花壇、環境、清掃）、安全支援部（登下校見守り、校外学習見守り）の3つの部があり、総勢約55名の方に11の活動で参加していただいております。家庭・地域の方々と連携した教育活動を推進している。

(2) ビオトープによる環境学習の充実

3年前、保護者や地域の皆様の支援を受けて児童の手でビオトープを設営した。外来種の除去、ヤゴの救出、植樹、落ち葉ケーキ作り等の活動により、地域固有種による豊かな生態系が育まれている。ビオトープ整備やビオトープ学習には、ビオトープサポーターの皆様の支援を受けている。サポーターは、地域、保護者の皆様から構成され、ビオトープを核とした三者の連携が推進されている。

2 実施に当たっての工夫

○人材の確保

3月、4月に、保護者に向けて学校応援団募集案内を出す。地域の方々には、学校便り等で応援団への参加を呼びかけている。また、応援団の方々にも知り合いの方を誘っていただけるようお願いしている。合言葉は、「できるときにできる範囲での協力を」とであり、無理のない程度に参加できるようにしている。また、活動時には、応援団登録者以外の方にもメールで参加を呼びかけ、自由に参加できるようにしている。

3 成果・効果

○保護者や地域の人々との結びつきが強まり、地域の教育力が向上した。

○子どもの多様な経験や体験が充実するようになった。

4 子供・地域の声

(1) 子供の声

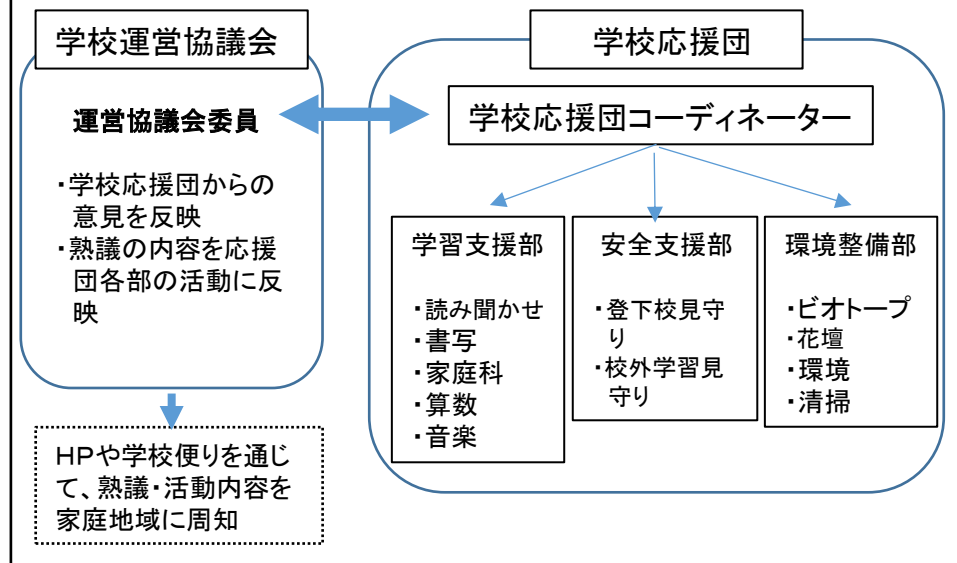
- ・「いろいろな人が、ぼくたちのためにお手伝いしてくれてうれしい。」「先生、親、地域の人たちと一緒に活動できることが楽しい。」「等々大人とかかわる喜びを述べている児童が多い。

(2) 地域の声

- ・「子どもたちのよさを見つけることができうれしい。」「子どもの成長が見られた時、参加の意義を感じた。」等、地域ぐるみで子どもたちの教育に携わることに前向きな声が多くあがっている。

学校基本情報

児童（生徒）数	405名	学級数	16学級
コーディネーター数 （担い手）	1名 （PTA会長）		



〔ビオトープサポーターによる環境学習支援〕



〔書写部による書き初め学習支援〕

毛呂山町立光山小学校の実践

1 特徴的な活動内容

「もろやままちたんけん」

地域の方々から仕事の話や質問したりし、まとめることで、地域で生活したり働いたりしている人々と自分たちとの関わりについて考える。

2 実施に当たっての工夫

(1) 地域の商店・公共施設との連携

多くの方々に関わっていただくため、コーディネーターを中心に声かけを行った。特に、実際に地域に出向いて行う「まちたんけん」では行くことが出来ない場所にあるお店や日中には活動している様子が見られない方々には学校に来ていただき、教室で仕事の内容などの話をさせていただいた。

(2) 当日の活動における地域・保護者との連携

地域に出かけての「まちたんけん」当日において、班行動時の安全確保などを自治会や保護者と事前打ち合わせを行い、「まちたんけん」のめあての共有のもと、活動の見守りを協力していただいた。

3 成果・効果

最初に教室で話を聞いて興味関心が高くなり、実際に町を歩きながらインタビューをすることで、より深く質問することができた。また、多くの方々の見守りがあり事故や怪我がなく活動ができた。

4 子供・地域の声

(1) 子供の声

- ・まちの色々なお店を知ることができた。
- ・お店の人が優しく教えてくれた。

(2) 地域の声

- ・元気な子ども達の姿を見て、自分も元気をもらった。
- ・合うたびにあいさつしてくれるようになった。

学校基本情報

児童（生徒）数	213名	学級数	10学級
コーディネーター数 (担い手)	2名 (元PTA会長1、自治会長1)		

学校応援団

学校運営協議会

- ・ボランティアの調整
- ・取組の見届け

地域学校協働活動推進委員

- (コーディネーター)
- ・ボランティアの調整

【地 域】

- ・校区区長会
- ・民生・児童委員
- ・東公民館(各サークル)
- ・読み聞かせ団体
- ・城西大学、埼玉医科大学
- ・川角中学校、川角小学校 等

【家 庭】

- ・親子除草
- ・引渡訓練
- ・学習支援
- ・行事ボランティア 等



〔町探検見守りボランティア〕



〔地域ボランティア除草作業〕

小川町立大河小学校の実践

1 特徴的な活動内容

- (1) 教科横断的な「おがわ学」の実践
おがわ学と関連づけて、社会「有機農家の仕事」、総合的な学習の時間「有機で栽培する大豆」、国語「有機栽培 大豆の活用」の各授業では、地域の有機農家の方々をゲストティーチャーとして授業を実施した。
- (2) 体験的な学びの支援
小川町の在来種「青山大豆」の栽培、収穫体験の支援を実施している。こうした体験に際しては、実際に大豆の根の根粒細菌に着目させて菌類と植物の共生関係を学んだり、実が入らなかった要因等を考察させることにより農業が直面する課題などを学ばせることができた。

2 実施に当たっての工夫

- (1) コーディネートの工夫
「おがわ学」の年間指導計画とテキストをもとに、授業を担当する教員と「おがわ学」を統括するおがわ学部会担当教員が連携して実践に取り組んでいる。その際、外部のゲストティーチャーとの連絡・調整としておがわ学コーディネーターを活用することで円滑な実践を実現している。

3 成果

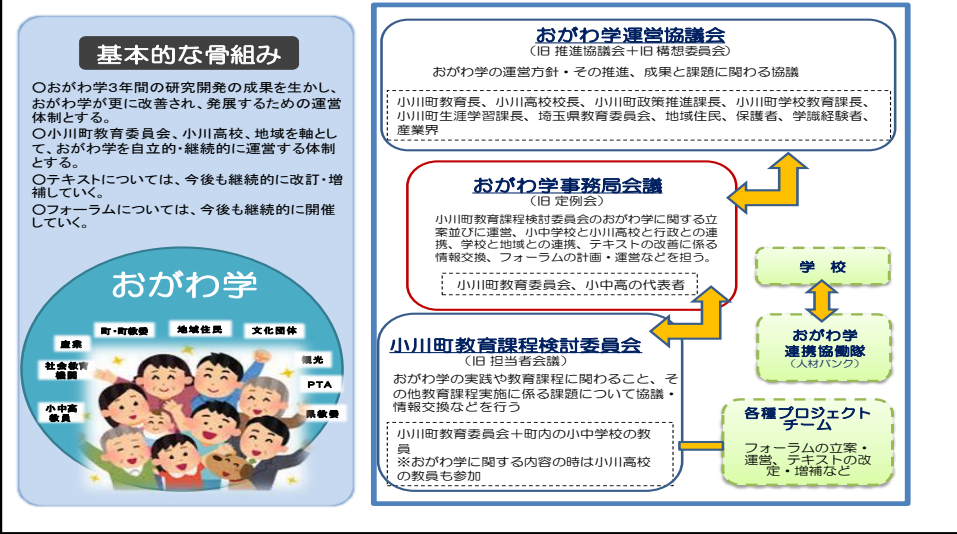
- 「おがわ学」を活用することで、有機農業を横軸とした教科横断的な授業を実施することができた。
- 子どもたちにとって、地域の方々がゲストティーチャーとしてお話ししてくれることで、他人事ではなく身近な自分事として考える機会を提供することができた。

4 子供・地域の声

- (1) 子供の声
- 地域の方から地元の特徴や良さを学ぶことができ、自分の住んでいる町を好きになり、誇りに思えるようになった。
 - 小川町の有機農業についてもっと知りたくなった。
- (2) 地域の声
- 地域の多様な魅力を体験的に学んでくれる子どもたちをみると、ゲストティーチャーとして大変うれしいし、町の将来に期待が持てる。
 - 子どもたちに有機農業のすばらしさや可能性を探究させるのもいいが、農業全体を取り巻く厳しさにも目を向け、有機農業の未来について考えさせる必要がある。

学校基本情報

児童数	158名	学級数	8学級
コーディネーター数 (担い手)	1名 (おがわ学コーディネーター)		



〔有機農業に関する授業〕



〔青山大豆種まき〕

深谷市立岡部小学校の実践

1 特徴的な活動内容

- (1) 地域の自然環境や生活を生かした教科横断的な学習活動
農園ボランティアの方に学校農園の整備や栽培指導を受け、地域特産のブロッコリーや大根の栽培など体験活動を行っている。
元PTA会長の営まれている寺（普済寺、源勝院）に出向き、写生会を行ったり、寺や地域の歴史についての講話や座禅体験等も実施している。
5年生の「チャレンジ米作り！」では「岡部自然を愛する会」やJAの方々に協力をあおぎ、児童の手で田植えや稲刈りを行うだけでなく、理科、図工、道徳、家庭科、福祉教育など教科横断的な学習を進めることができている。
- (2) 多様な学習支援
毎週月曜日朝の読みきかせ、町探検の引率、ミシン学習支援、むかし遊びの会など児童の発達段階や経験を配慮し、児童に寄り添った学習支援をしていただいている。
毎年、地域学校協働活動推進委員から地域の演奏家を紹介していただき、ふるさと教育にもとづいた音楽鑑賞会を実施している。

2 実施にあたっての工夫

- (1) 学校と地域の協働を要とする
初回学校運営協議会で学校経営方針を説明し、以降の協議会で必要な議題について熟議し、方向性を確認し、保護者とも共有している。民生児童委員定例会や自治会長会議に出席し、校長から学校、児童の様子について紹介し、地域とつながる場を大切にしている。
- (2) 積極的に教育活動を公開
学校便りは地域にカラー版で配布、配信を行う。また、学校ホームページの更新を毎日行い、積極的に教育活動を公開する。地域連携の会議の際は授業参観を計画し、子供たちの学習の様子を公開している。

3 成果と地域の声

- (1) 成果
- ・学校からの募集だけでなく、ボランティアの方々が繋いでくださる縁で応援団の和が広がっている。
 - ・学校評価に限らず、様々な場面で保護者や地域の方からの声が上がってくるようになった。
- (2) 地域の声
- ・学校の教育活動に関わることが地域の方の生きがいにつながっている。
 - ・学校の様子が分かり、地域で子ども達を育てていると実感した。

学校基本情報

児童数	336名	学級数	16学級
コーディネーター数 (担い手)	1名 (地域学校協働活動推進委員)		

学校運営協議会

コーディネーター1名が委員として参画、熟議内容に協働活動を追加

- ・学校支援活動について
- ・地域との連携について

↓

学校だより
学校運営協議会だより
全家庭・地域に配布

学校応援団

安心・安全	学習支援	環境
自治会	農園ボランティア	岡部自然を愛する会
防犯ボランティア	花はなボランティア	老人会
スクールガードリーダー	民生委員・主任児童委員	読み聞かせ
PTA		民生委員・主任児童委員
民生委員・主任児童委員		婦人会



〔音楽鑑賞会フルート〕



〔収穫した米を子ども食堂へ寄付〕

上里町立長幡小学校の実践

1 特徴的な活動内容

- (1) 環境整備（樹木の剪定、花壇整備、草刈り等）
各学期に数回、学校応援団の方が中心となって、樹木の剪定や花壇整備、草刈り等を行った。
- (2) 梨の栽培体験
梨の栽培（受粉、摘果、収穫、剪定）を学校応援団の梨農家と協力して取り組んだ。体験活動を「郷土を愛する学習」として年間計画に位置付け、生活科や総合的な学習の時間の中で全学年が関わった。
- (3) 野菜栽培体験
学校敷地内にある畑を利用して、低学年を中心に野菜栽培活動を実践した。（1年大根、2年サツマイモ、3年ブロッコリー）

2 実施に当たっての工夫

上里町の特産物である「梨」の栽培を通して、自然・地域・人とのふれあい体験を豊かにさせることをねらいとして梨の栽培体験を実施している。地元梨農園の方に指導・支援を依頼して、上級生が下級生をサポートする体制を整え、長幡小学校の伝統として受け継いでいる。収穫時では、全児童が梨と併せて梨がどのように栽培されているかの経緯を知らせる保護者宛の手紙を持ち帰る。裏面には返信用の記述欄があり、指導者へメッセージを書いてもらい、梨農園の方と保護者とのつながりを形成している。また、現時点での梨の成長の様子を児童や保護者等にも伝えられるように、地域連携室に「梨栽培コーナー」を設営した。

3 成果・効果

令和5年度末保護者アンケートより 「お子さんは、楽しそうに学校に通っていますか。」
（「はい」と回答116名／120名…97%）

4 子供・地域の声

- (1) 子供の声
 - ・梨栽培を体験することで、作物を育てる大変さを知ることができた。これからも感謝の気持ちを込めて給食を食べたいと思った。
- (2) 地域の声
 - ・子供たちと関わる機会を得て、やりがいを感じている。

学校基本情報

児童数	165名	学級数	8学級
コーディネーター数 (担い手)	1名 (学校運営協議会)		

学校運営協議会

連携

学校応援団 39名

コーディネーターは運営委員を兼ね、会に参加する。協議内容に応援団活動についても加え、他の委員にも理解・協力を得る。
・人材確保について
・学校支援活動について
・学校・児童の様子について 等

活動内容
○安全 ○読み聞かせ
○図書運搬 ○学習支援
○昔遊び ○学校農園
○環境整備・緑化
それぞれの活動以外についてもできる限り協力体制をとる。

* 他団体との連携
(伝統芸能保存会、お年寄りの会 町図書館 等)



〔梨栽培コーナー〕



〔梨の受粉〕

行田市立下忍学校の実践

1 特徴的な活動内容

- ・公民館と連携した活動の展開
学校行事と公民館の連携による体験的活動の実施

2 実施に当たっての工夫

(1) 学校と地域が目標を共有

学校運営協議会で「夢に向かってチャレンジし続ける児童」という目指す児童像を関係者で共有した。小規模校のため、外部との関わりを増やして、児童の視野を広げたいという学校の考えもご理解いただいた。本校は、公民館との連携が密である。連携行事として、じゃがいも掘りを行った。5年生の米作りでは、地域の方の田んぼをお借りして、田植えと収穫体験を実施している。今年度から、地域の方に、下校時の見守りへのご協力をいただいている。「下忍小周辺をきれいにする会」及び夏季休業中のPTA除草活動、有志の方々による消毒作業等で、環境整備にご協力いただいている。

3 成果・効果

- ・下校時の見守りへのご協力により、低学年の下校時の安全が確保された。
- ・体験的な活動により、児童の学習意欲が高まった。
- ・敷地内の樹木園等の環境整備が進んだ。

4 子供・地域の声

(1) 子供の声

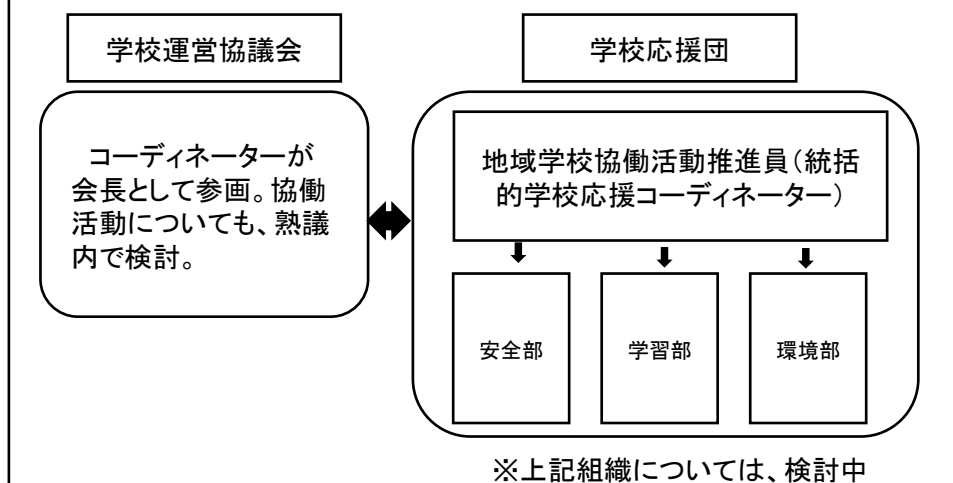
- ・自分たちが植えたじゃがいもやお米を収穫し、食べることができて、育てることが楽しくなった（児童）。

(2) 地域の声

- ・子供たち一人一人の様子が良くわかるようになった。
- ・子供たちが喜んでくれ、地域に愛着をもってもらえるようになり、嬉しい。

学校基本情報

児童（生徒）数	84名	学級数	7学級
コーディネーター数 (担い手)	コーディネーター1名（公民館長） 学校応援団 約40名		



〔じゃがいも掘り〕



〔登下校の見守り〕

久喜市立太田小学校の実践

1 特徴的な活動内容

「チーム太田小」として、学校・PTA・地域が一体となり「伝統を生きし 未来をつくる 太田小の子どもたち」の育成に向けて、子供たちの学習環境を整えている。ここでは、「学校環境整備」と「火曜の学習」について紹介する。

①学校環境整備

学校外周の垣根の剪定や敷地内の草刈り等を行うプロジェクト。
特に児童の登下校に係る歩道に面した垣根の剪定を行うなど、安全面を考慮して定期的に実施している。

②火曜の学習

漢字の学習を中心に、希望者を募って実施するプロジェクト。
この学習のまとめとして、申込者には本校を準会場として漢字検定を実施している。合格を目指して、多くの児童がチャレンジしている。

2 実施に当たっての工夫

学校運営協議会と連携した取組

学校運営協議会での議題がもとになったプロジェクトである。委員も務めるコーディネーターやゆうゆう実施委員長等の人脈から発足し、継続的・計画的に実践している。環境整備については、各自が自前の農機具を持参して効率的に進めている。また、火曜の学習については、児童は希望に合わせてその都度申し込めるようにしている。子供たちは、自分の予定に合わせて参加できるようにしている。

3 成果・効果

- ・垣根の剪定により、児童の目線にあった枝がなくなり、かつ歩道が広く使えるようになるなど、安全面での改善が図られた。
- ・昨年度の漢字検定では、95%以上の合格率を達成した。不合格の児童も合格まであと1問と限りなく100%に近かった。

4 子供・地域の声

(1) 子供の声

- ・安全に登下校できるようになって嬉しい。怪我が減った。
- ・勉強を優しく教えてくれる。これからも漢字を頑張りたい。

(2) 地域の声

- ・子供たちの挨拶が励みとなり、やる気につながっている。
- ・子供たちの笑顔のために今後もできることを実践していきたい。

学校基本情報

児童（生徒）数	493名	学級数	23学級
コーディネーター数 （担い手）	3名 (PTA会長1、学校運営協議会長1、 ゆうゆう実施委員長1)		

チーム太田小

学校運営協議会

委員 区長、民生委員、ゆうゆう実施委員長、PTA本部役員、
PTA元会長、校長、教務主任

教育活動の充実に係る議題・熟議

学校応援団

PTA・各自治体区長・ゆうゆう実施委員・スクールガードリーダー・
各ボランティア団体・民生児童委員、主任児童委員・地域住民 等

<主な活動>

- ・行事補助 ・生徒指導推進委員会 ・除草作業 ・農園整備 ・環境整備
- ・学習支援 ・環境整備 ・安全見守り ・読み聞かせ、図書整理 等



〔垣根剪定〕



〔火曜の学習〕

三郷市立幸房小学校の実践

1 特徴的な活動内容

- (1) 読み聞かせボランティア「おはなしのブーケ」による読み聞かせ
 - ・金曜日の朝の時間に、読み聞かせをしていただいている。絵本だけでなく、大型紙芝居や語りのみの臨場感あふれる体験となっている。
 - ・2学期より月1回を目安に、低学年を対象とした昼休みの読み聞かせを実施。1つのお話を複数名で読み聞かせすることで、普段とは一味違った楽しい時間を味わわせていただいている。
- (2) 幸房フェスティバルの開催
 - ・「子供たちに心に残る思い出を」をコンセプトとしてPTAが中心となり子供たちが楽しめるゲームやクラブ発表などを毎年実施している。
 - ・「おやじの会」の飲食販売や「おはなしのブーケ」のお話会、学習支援ボランティアのクラブ発表衣装の作成など活動の輪が広がっている。

2 実施に当たっての工夫

- (1) 読み聞かせボランティア「おはなしのブーケ」
 - ・活動を維持していくため、年度当初や年度末にメンバーの募集をかけている。さらに、随時、見学や体験の受付をおこなっている。
 - ・子供たちが「本好き」になるよう手作りの栞などを作成している。
- (2) 幸房フェスティバル
 - ・毎年、ふり返りのアンケートを全家庭・教職員へ行い、次年度のよりよい活動へつなげるようにしている。

3 成果・効果

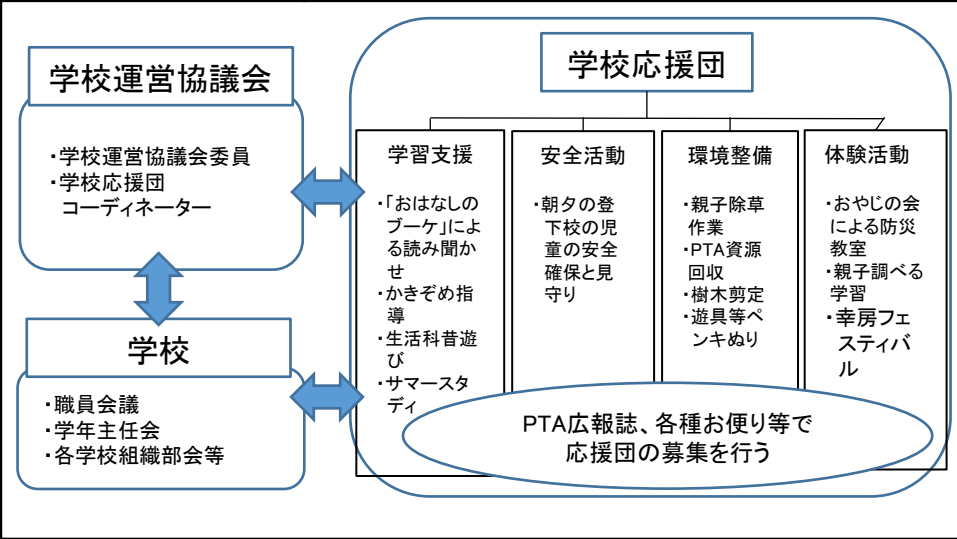
- ・読書好きな児童が増加し、「埼玉県学力・学習状況調査」の質問紙において、1か月に3冊以上本を読んだ児童の割合が6年64%（県平均46%）、5年62%（県平均48%）、4年64%（県平均49%）と県平均を上回る。
- ・幸房フェスティバル実施後のアンケートでは、「良かった84%」「来年も行く88%」と子供たちの思い出に残るイベントとなった。課題としては、実施までに多大なる準備が必要となるため関係者の大きな負担になってしまう点である。

4 子供・地域の声

- (1) 子供の声
 - ・おはなしのブーケの皆さんの読み聞かせがいつも本当に楽しみです。
 - ・幸房フェスティバルでまた小学校の楽しい思い出が増えました！
- (2) 地域の声
 - ・子供たちがいつも真剣に話をきいてくれるのでやりがいがあります。
 - ・親子そろって楽しませていただきました。来年も期待しています。

学校基本情報

児童（生徒）数	1 3 9 8 名	学級数	4 6 学級
コーディネーター数 （担い手）	1 名 （学校運営協議会委員・学校応援団コーディネーター 1 名）		



〔「おはなしのブーケ」による
昼休みの読み聞かせ〕



〔幸房フェスティバルの様子〕

蓮田市立蓮田南小学校の実践

1 特徴的な活動内容

子どもたちへの学習支援活動や、昔遊び・ものづくり体験などの地域人材・環境を活かした体験活動をはじめ、運動会等の行事、PTA主催の親子イベント、学校環境整備の活動等への参加をとおり、学校・保護者・地域との連携を深めている。

2 実施に当たっての工夫

(1) 体験活動への支援

おはなし会、昔遊び・ものづくり体験、福祉(車いす、点字、手話)等をはじめとする様々な体験活動の支援をいただいている。また、学校の環境整備も定期的に行っていただいている。ボランティアの方からは「学校の負担を増やさないように」という配慮や「子どもたちのために」という共通認識を持ち、事前の打ち合わせや準備等は極力最小限にとどめたり、実施しなかったりして、教職員の負担軽減にもつながっている。

(2) 安全・安心な環境づくりへの支援

学校から遠い地区から通う子どものために、下校見守りボランティアの方も毎日活動してくださっている。通学路の危険箇所や子どもの様子が気が付いたこと等も報告してくださるので、地域や防犯上の情報収集にも役立っている。

3 成果・地域の声

(1) 成果

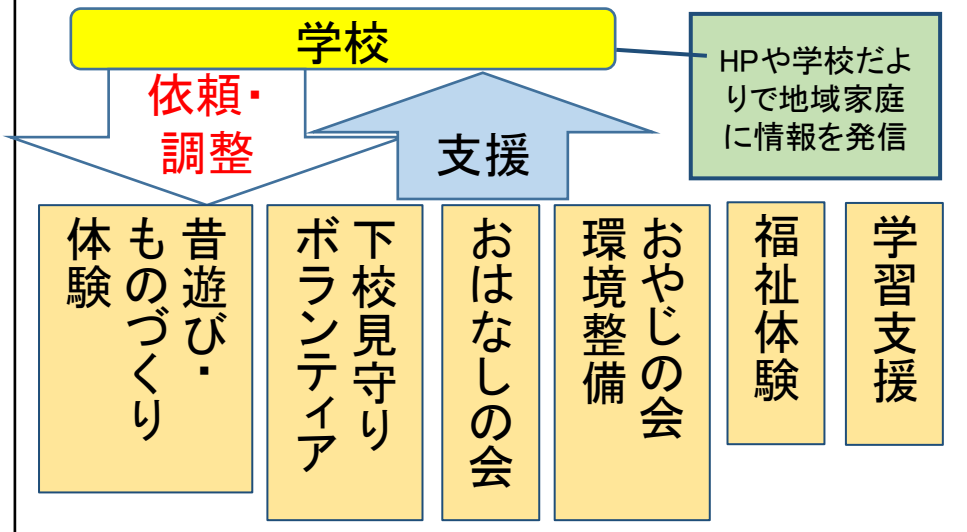
- 子どもたちは貴重な経験を積むことができ、豊かな心が育まれている。
- 地域や保護者の目線から学校に様々な情報を提供してくださっており学校・保護者・地域の連携強化につながっている。
- 潤いのある学校環境や、児童へのよりよい教育活動が確保され、教職員の負担軽減につながっている。

(2) 子ども・地域の声

- 割り箸でっぽうや紙グライダーなど、また自分でも作りたい。
- 子どもたちから、来年もイベントが楽しみだと言っている。
- 「おやじの会まつり」や「親子そば打ち体験教室」など親子で学校へ来て、イベントに参加する機会も増えた。
- 子どもたちの学びや、先生方の負担軽減につながっていてよかった。

学校基本情報

児童数	695名	学級数	25学級
コーディネーター数 (担い手)	6名 (各ボランティア団体代表)		



〔親子そば打ち体験教室〕



〔昔遊び・ものづくり体験〕

宮代町立百間中学校の実践

1 特徴的な活動内容

本校は、生徒と教職員、生徒同士、教職員同士、学校と家庭、学校と地域等、学校内外の関係が相互の信頼を基盤として成り立ち、強い絆で結ばれた学校を目指している。本校の学校応援団は、学習活動、部活動、生徒の健全育成、環境整備等についてPTAの力を借りて、学校と地域が一体となって学校教育を充実させることをねらいとして進めている。

2 実施に当たっての工夫

教育活動の精選をすすめる中でも、ぶれないねらいを持って活動内容を工夫している。また、御協力いただいている団体、個人の方に負担とならない回数や時間帯の設定、各事業との窓口を担当制とし、連絡調整が滞ることなく円滑に活動できるようにしている。

3 成果・効果

外部指導者による部活動指導、図書ボランティアによる図書室および蔵書の整備と本の紹介、読み聞かせボランティアによるブックトーク、毎月1回行われるPTAあいさつ運動、家庭科分野で行われる保育実習、地域の事業所での2days職場体験等により、体験活動を中心とした取り組みを行うことができた。

4 子供・地域の声

(1) 子供の声

- ・職場体験を行い、将来を考える良い機会となった。
- ・保育実習を行い、自分もこうして大切に育てられたのかと思うと感謝の気持ちが生まれた。

(2) 地域の声

- ・生徒と接することで、地域の子供たちのよいところを見ることができた。また、学校の教育活動を知ることができた。

学校基本情報

児童（生徒）数	4 1 7 名	学級数	1 4 学級
コーディネーター数 (担い手)	2 名 (PTA会長 学校運営協議会会長)		

学校運営協議会

学校運営協議会会長、PAT会長を含め、5名が委員として参画

- ・学校支援活動について
- ・ボランティアについて
- ・地域問題について

↓
動画や資料を活用

教育活動に反映

～ 校 内 組 織 ～

- 【学校図書部・教務部】
- ・ブックトーク&読み聞かせ
- ・図書室や蔵書整備
- 【部活動顧問・部活動担当】
- ・外部指導者との連携
- 【教務部】
- ・PTA活動等
- 【技術・家庭科】
- ・家庭科分野における保育実習
- 【総合学習主任】
- ・2 days職場体験
- ・福祉体験学習等
- 【生徒指導、教育相談部・安全部】
- ・杉戸警察
- ・子育て支援課等



〔福祉体験学習〕



〔PTAあいさつ運動〕